

“新” 友愛記念病院が提供する医療機能のご紹介

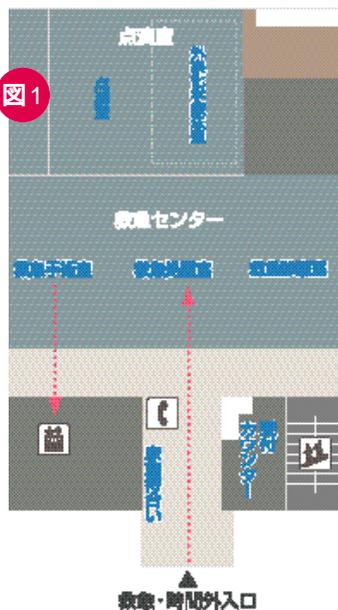
今回移転した“新”友愛記念病院は患者さんに、より快適な療養環境を提供するために施設はもちろんその機能も充実させました。「ゆうあい」2～4号で紹介いたしました「救急センター機能」「画像診断センター機能」「癌治療センター機能」「手術センター機能」「循環器病・呼吸器病・糖尿病センター機能」の5つの医療機能をまとめてご紹介いたします。

1 「救急センター」機能

すべての救急医療に対応する「救急センター」

救急センターの入り口には大きなひしがついていて、センター内に患者さんを搬送する時、雨に濡れることもありません。また、救急車が停車するスペースから風除室を経由して、ストレートに救急処置室に患者さんが搬送されます(図1下)。

独歩可能な患者さんは救急診察室で、担架で搬送された患者さんは救急処置室で診察します。込み入った外科的処置が必要な患者さんは、救急手術室ですぐに外科的処置や小手術が行えます(図1中央)。



快適な環境で外来点滴治療

救急処置室に隣接して、その奥には19人まで収容可能な中央点滴室があります

(図1上)。入院が必要ではない救急患者さんで、外来での点滴治療が必要な方は、ここで点滴治療を受けることとなります。

また、中央点滴室2室のうち、玄関から向かって右側の点滴室は、昼間は「外来化学療法室」として使用している部屋です。フルフラットリクライニングシートが設置され、液晶テレビも付いていますので、快適な環境で外来点滴治療が受けられます。

救急センターと隣接した検査室での緊急検査

放射線検査室、内視鏡検査室、生理検査室など、すべての検査室は1階に揃っており、救急センターと隣接しています(図2)。患者さんは大きな移動を必要とせず、そのままレントゲン、エコー検査、CT検査、内視鏡検査などを受けることができます。

夜間緊急入院のための「救急病棟」

入院が必要な患者さんのために、3階に「救急病棟」をつくりました(図3)。34床中、一部は眼科病棟ですが、夜間の緊急入

